

<大淀子どもフェスティバル>から <吹田子ども科学実験教室>へ

科学実験で楽しさを
もの作り体験で自信と意欲を

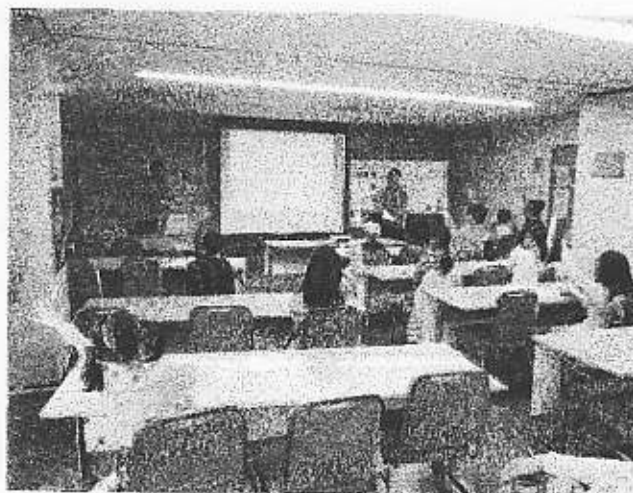
<好奇心を育てる活動>に引き続きご支援を！



■「大淀フェスティバル」楽しかったです！ご苦勞様でした。

★時期と場所が原因でしょうか？目標の参加者数にはなりませんでした。「子ども65名・保護者60名前後・スタッフ80名」と、「久しぶりに小さなイベント、アットホームイベント」になりました。今回も、皆様のご協力をいただき楽しいイベントに関わることができました。ありがとうございました。

★29年度も、<大淀子どもフェスティバル>を行います。時期は、春休み頃を予定していますが、**ぜひ<子ども教室・OBG会>スタッフ**として引き続きご支援いただきますよう、どうぞよろしくお願ひします。



科学実験教室は楽しかった！

★音田は環境実験<イオンと食べもの>。子ども達も保護者も10名前後。とてもゆったりと実験をすることができました。午後からは、親子科学実験教室として授業しましたが、これも良かった！

★4歳の男の子が最後まで実験に参加して、予想に手をあげたり、代表実験をしてくれたり、どの教室でもある風景ですが楽しかったです。★スタッフの皆さんも「この実験は初めての体験！」という方がほと

んどだったようで、「皆さんの<学習の場>と考えればこれもシメタ！」でした。

皆さん！ありがとうございました。

■「大淀フェスティバル」楽しく、実践することが出来ました。<水の表面>では、子ども達は、午前10名、午後は8名くらい、保護者を入れて、20名、16名。★午前の授業から、「親子科学実験教室」にすることにして、子どもたちと、親御さんに一緒に座ってもらいました。★午前は、4グループで5名ずつくらい、午後は4名くらいで、1グループで、4つの机を、4～5人で囲んでもらい、子どもと一緒に、**お父さん、お母さん、おじいちゃんも一緒に、答えてもらいました。**小学1～4年生で、兄弟の2歳の男の子も一緒に、参加してくれました。★午前、午後で13名の方に、アンケートをいただき、

・たのしさ…5：12名、4：1名 ・ないよう…5：6名、4：7名でした。

「感想」・1円だまをうかせるのがおもしろかった。(小2)・いろいろなじっけんができてたのしかった。(小)・やったことぜーんぶたのしかった。いまじっけんしたことぜんぶいえてやりたい(小1)・きょうのじっけんで1円玉をうかすやつがちょっとむずかしかったです。(小2)・あかぼんつくんのかつやくがこんなにすごいとおもいました。

・1円玉を落とすじっけんがたのしかった!・家の人にもいいたい。(小3)・どういがかんじかがわかった。(小3)・1円玉がせんざいを入れるとぜんぶしずんでいくのがおもしろかった。(小1)・親子でとても楽しく学べました。ありがとうございました。(2歳のお母さん)

★「ゆめほたる」の時の、科学実験教室のように、〈親子科学実験教室〉を実施することが、幸いにも出来ました。40名、50名の時とは違って、とつても、アットホームに進められ、これもまたよしと感じることが出来ました。

★経営者の観点からは問題ですが、現場の人間にとっては、楽しく満足のいく時間ですね。

(佐藤和次)

*

■**＜かがやけ10円玉＞**昼からの「親子科学実験教室」では、お母さんの反応がとても良くて、楽しかったですよ。たった2組・4人でしたが…。(午前は20名?) そのうち1人が〈科学の祭典〉で10円玉ブースで経験しており「おもしろくなくなるかな??」と危惧しておりましたが、その子どもが、とても楽しんでくれました。水+塩では、「きれいになる」と全員(4人)の手が上がりました。楽しいですネ。酢+塩はピカピカだとわかりました。これも、人数が分かれて「わたしのほうがどきどきしました」。最後、法円坂プラザの事を聞いて帰られました。きっと来年、プラザに参加してくれるだろうと思います。

(高松真津子)

姿より香りに生きる花もある

京都には300以上のお寺があることで知られています。お寺の前にとってもいい言葉が書いてあることがございますね。

この間も河原町の小さなお寺の前でバスを待っていました。ふっと横を見ましたなら、新しいその週の言葉が入っていたんです。それがとても感動的でしたから、子ども達に何度か朝の話しなどに使いました。それは立派な字でこう書かれていました。

「姿より香りに生きる花もある」

ホントにそう思いませんか。バラがありユリがあり、豪華なランやシンビジュームがあるなかで、ホント目立たないで咲いているスマレやタンポポなどの野の草花。そういうすべての花の中に託された美しさ。

その花が、よりその花らしくあるためには、スマレはスマレらしく香り咲くことであり、バラはバラらしく豪快にさくことであるわけです。そういうことをお母さんが心にとめて下さって子どもさんを見ていらっしゃるかどうか。だから、地球上のすべての人々をみんな花と思えば、私しかない花の特徴をよりユニークにより美しく香らせていくことを誇りにして生きていく。自分が自分であるがゆえに胸をはって堂々と生きていく。そういう社会になるのではないかと思います。

そういう社会を作り出すのもお母さまの大事な部分だと思います。そして、学校教育の大事な部分じゃないかと思えます。

シスター・ベアトリス (京都・ノートルダム学院小学校校長)

「人は空のあるところ心もある」より